

七ヶ宿町の地域学校協働活動

1 今年度の事業の取組について

七ヶ宿町の協働教育は、協働本部がこれまで実施・調整してきた事業をもとに、地域・家庭・学校が相互に連携して子供を育てる環境づくりを進め、地域・家庭の教育力向上を目指し事業を展開してきた。事業としては、前年度の事業を基本として活動に取り組んだほか、新型コロナウイルス感染防止対策が緩和されたことにより、休止していた事業も再開することができた。

2 地域学校協働本部について

協働本部：七ヶ宿町教育推進協議会（S59年設立 構成員19名 会議2回/年）

地域学校協働活動推進員：0人 統括コーディネーター：1人 地域コーディネーター：1人

関係団体：七ヶ宿町学校運営協議会（H28年設立 構成員14名 会議3回/年）

3 事業紹介

（1）家庭教育支援

事業名	内容	備考
子育て支援講座	親子で体を動かし、子供の発達段階に応じて身に付けたい動きや感覚を養う。	共催：関保育所
「親子で人形劇を楽しむ会」	親子で人形劇を楽しく観劇することによって、子供たちの情緒の発達や人格形成に寄与する。	共催：関保育所、七教進
「親子で遊ぶおもちゃワークショップ」	親子で人形劇の観賞とおもちゃ遊び体験。子育て相談。	共催：関保育所
子を持つ保護者の交流会「ぼっぼクラブ」	子供の成長や親同士の悩み相談など、育児に関する情報交換の場として設定。	休止中
親子料理教室	子供の食育は、小学校頃までが発育・発達の重要な時期であり、成長著しい大事な時期を親子が共に調理体験から食事の大切さを学ぶとともに、愛着醸成を図る。	
親子工作教室	作品を作ることで、地域の暮らしの魅力を認識、再発見してもらおうきっかけとし、町への愛着形成に繋げる。また、ふれあいの機会とし、親子の絆と豊かな心を育むことを目的とする。	①陶芸教室 ②凧づくり教室



子育て支援講座



親子凧づくり教室

(2) 地域活動支援

事業名	内容	備考
ジュニア・リーダーの育成	<p>子ども会活動に必要な技術・態度等について学習し、積極的に活動できる次代のリーダーを育てる。</p> <p>①S J L C 「ぼっぼ組」サークル活動（定例会・研修会）</p> <p>②青少年指導者研修会（初級研修会）</p> <p>③地区子ども会へ派遣</p> <p>④子ども会育成会事業（新年を祝おう会）への支援</p> <p>⑤自主企画事業（ふるさと祭りへの出店・園児との交流・ひなまつり工作）</p>	<p>①会員数：19名</p> <p>②理論・実技研修（計3日間）</p> <p>③令和5年度は要請なし</p> <p>④工作・レクリエーション</p> <p>⑤ふるさと祭り（町イベント）、ひなまつり作品は、水と歴史の館特別展に出品</p>
NO！ぼっち運動	<p>高齢者が安心安全に暮らせる地域づくりのため、関係機関が連携し合い横断的な事業を推進する。</p> <p>①NO！ぼっち会議</p> <p>②NO！ぼっち手紙運動</p> <p>③あいさつ+声かけ運動</p>	<p>①12の関係機関 運動内容の計画、協議</p> <p>②町内小中高校の児童生徒から高齢者世帯に年1～2回手紙を郵送（128世帯）</p> <p>③子供や地域住民、郵便局員など、あいさつ+声かけを行うよう広報</p>
七ヶ宿総合スポーツ祭2023	<p>体力・運動能力調査の実施と併せて家庭バレーボール、ボッチャの体験会を実施。参加者同士の交流と技術向上を図る。</p>	<p>協力：スポーツ推進委員</p>



ジュニア・リーダーの育成（初級研修会）



ジュニア・リーダーと遊ぼう（保育所）

（3）学校教育支援

事業名	内容	備考
地域人材活用事業	学校からの要望に応じ、地域の人材を講師として紹介し、様々な学習活動等を支援する。	事業によって中止・延期有り
	横川交流会（笹巻づくり）（1・2年） イチゴの収穫体験（1・2年） 畑づくり・そば栽培（総合3・4年） 炭焼きと森のお話（総合3・4年） 炭石けんづくり（総合3・4年） 源流米づくり（総合4・5・6年） 和太鼓演奏（総合5・6年） 租税教室（社会5・6年） 歴史・郷土史（総合5・6年） グラウンド・ゴルフ講習会・大会（全学年） 七ヶ宿音頭（全学年） スキー教室・大会（全学年） わらじで歩こう七ヶ宿	七ヶ宿小学校
	七ヶ宿町内職場体験・生産者訪問（総合1年） 職場体験（総合2年） 地域交流学习（総合3年） 学校畑電気柵設置（技術3年） 保育実習（家庭3年） 環境、福祉学習（全学年） 七ヶ宿音頭（全学年） スキー教室・大会（全学年） わらじで歩こう七ヶ宿	七ヶ宿中学校
学校音楽祭	町内の保育所・小学校・中学校・高校が一堂に会して発表する音楽祭。児童・生徒の交流を図り、町民に子供達の元気な姿と音楽を鑑賞する機会を提供する。	協働本部（町教育推進協議会）が主催 （保育所は欠席）

七ヶ宿町本読み応援隊	地域ボランティアが保育所や小学校を会場に絵本の読み聞かせを実施する。	月1回程度
図書利用促進	学校図書の利用促進に向けた取組を支援するため、関係機関を集め、情報の共有、課題の整理等確認するほか、関連事業を組み立てる。併せて町図書の利用促進、子供も大人も一体とした読書推進を図る。	①担当者情報交換会 ②図書関係職員研修会 ③読書通帳の発行 ④スタンプカードの発行 ⑤生徒作成ポップ作品展示 ⑥学校に町図書設置



地域人材活用事業（横川交流会・笹巻作り）



地域人材活用事業（地域交流学习）

4 成果と課題

（1）家庭教育支援

- ・保護者と子供のふれあいや親同士の交流を組み立てながら、学習する機会を設け、保護者への家庭教育向上を図った。参加した保護者の関心が高く、参加状況が良い。ニーズを整理し、持続可能な事業展開・関係機関との連携が課題である。

（2）地域活動支援

- ・ジュニア・リーダーとなる生徒が年々減少している中、今年度は平成30年度以降5年ぶりに宿泊を伴う野外活動の内容で研修を実施することができた。今後はサークルへの加入促進が必要となってきた。
- ・NO！ぼっち運動では、社会福祉協議会による高齢者が児童・生徒へ手紙の返事を書く支援が始まり、児童・生徒の意欲向上に繋がっている。

（3）学校教育支援

- ・体験活動や学習活動を通して、地域住民と関わり社会性を養い、地域の一員であることを考え、課題を発見し、行動する機会となった。
- ・コロナ禍で休止されていた本読み応援隊の活動を再開することができた。ボランティアの養成や新たなメンバー募集にも引き続き協力していく必要がある。
- ・小中各校において地域の人材を活用する仕組みが確立されており、スムーズな活用が行われている。事務局は不足した場合等相談を行っている。幅広い人材の確保が課題である。

七ヶ宿町 七ヶ宿町立七ヶ宿小学校(総合的な学習の時間)「そばの学習」

- 市町名 七ヶ宿町
- 学校名 七ヶ宿町立七ヶ宿小学校
- 期 日 令和5年12月18日(月)
- 内 容

総合的な学習の時間(3・4年)

「七ヶ宿おいしんぼたんけん」

- ・七ヶ宿の名産品であるそば作りについて理解を深める。
- ・そばの栽培、収穫・調理を通して、自ら課題を設定させ、文献調査や取材など探究活動に取り組む。
- ・生産者や湯原地域の方々の思いや苦勞、工夫などを理解させ、自分の生き方について考える。



○講 師

株式会社ゆのはら農産

代表取締役 山田 益広 氏

地域おこし協力隊 庄子 真人 氏

○指導補助

そば打ち体験指導補助

街道おたて職員の皆様

探究学習(インタビュー)への協力

ふるさと振興課

観光協会 岡崎 麻美子 氏

そば吉野屋 店主様

○児童の声

- ・初めてのそば打ち体験だったけど、うまくそばが切れたので良かったです。大変で難しいけど、おそば屋さんは毎日やっていると思うとすごいなあと感じました。そばをこねたり、切ったりするところが楽しかったです。

(4年女児)



- ・僕がそば打ち体験をして楽しかったことは、山田さんや庄子さん、おたての職員の皆さんに教えてもらいながらそば打ちをしたことです。そばができたときに、山田さんから「上手だね。」と言われたのがうれしかったです。

(4年男児)

- ・山田さんはプロなので簡単そうに見えたけれど、そば打ちは実際にやってみると難しかったです。そばはおいしくできて良かったです。いい体験ができたと思います。

(4年女児)



・自分で打ったそばは、おいしかったです。打つ手順がいっぱいあって大変でおぼえられないかと思ったけど、なんとか打って良かったです。麺は太すぎだったけど、食べたらいいもわるくなかったです。

(3年男児)

・そばを作るのは大変でしたが、山田さんがそばのことを教えてくれて、がんばって作れました。楽しかったです。

(3年男児)



○講師から

そばの栽培からそば打ちまで、説明を理解しようとして一生懸命聞いて取り組んでくれているのがこちらにも伝わってきました。そばの種蒔きから一連の流れを体験してもらうことで、興味・関心を持って学習に取り組んでくれました。特に、最後の食べることを楽しみにやってきました。自分で作ったそばは間違いなくおいしいです。この活動を通して、今後の生活の中でも「自分でこうすると、こうなるんだ」という体験が生きてくると思います。私のことをしっかりと見て、真剣に話を聞いてくれる子が多い印象でした。

株式会社ゆのはら農産
代表取締役 山田 益広 氏

○教職員の声

七ヶ宿町の地域産業の一つであるそばにつ

いて学習を行いました。株式会社ゆのはら農産代表取締役山田益広様、庄子真人様にはそばの種まきから収穫、収穫後の製粉作業やそば打ち体験など、一つの食材の生産から消費までの過程を大変詳しく、また丁寧にご指導いただきました。子供たちは、自分たちの生活の身近にあるそばが様々な工夫や手間、労力がかかり生産されていること、そこに秘められた作り手である山田様のそば作りに対する思いについて気付き、一層七ヶ宿のそばを調べたいという探究心を高めていました。子供たちは目を輝かせながら、そばについての栄養面やそばを活用した町づくりプランなど、様々な視点でそばについて調べることができました。また、そばを地域の産業として確立した山田様の姿に感銘を受ける子供もいました。

本単元「七ヶ宿おいしんぼたんけん」を通して、ねらいとする探究活動の意図の他、地域の良さに気付き、自分たちが七ヶ宿町のために何ができるか、何を考えていかなければならないのか、地域を支える者としての視点で、子供たちは学習に臨むことができました。このような実り多い学習に繋がったのも、山田様をはじめとするご協力いただいた方々からの様々なご支援の賜物だと考えます。誠にありがとうございます。



○教育事務所から

一年間を通じて地域の特色や生産者と深く触れ合うことで、地域に住む人たちの温かさを感じたり、地域への愛着を強くしたりする姿が心に残りました。



七ヶ宿町立七ヶ宿小学校

〒989-0525 刈田郡七ヶ宿町字利津保 16-1
 TEL 0224-37-2320
 FAX 0224-37-2326
 児童数 40名 P会員数 31名
 E-mail chief-1443801@www.city-himegaki.jp



地元農家の協力による
源流米づくり
体験学習

横川地区の食文化
笹巻きづくりを学ぶ
交流会

湯原地区の方々と
交流する
グラウンド・ゴルフ大会

地元のスキー場で
地域ぐるみで行う
スキー学習



かしこい子

やさしい子

たくましい子

学校教育目標 「かしこく、やさしく、たくましい児童の育成」



七ヶ宿町立七ヶ宿中学校

〒989-0529 宮城県刈田郡七ヶ宿町字瀬見原1 生徒数 30名
 TEL 0224-37-2360 FAX 0224-37-2387 P会員数 26名

コミュニティ・スクール
CS推進フォーラム



会議で講演及びワークショップを行い、卒業生、保護者、地域の方を結び、町の子供たちにどう育ってほしいか、そのために私たちに何ができるか話し合いました。

宮城県農業高校との連携による
七ヶ宿PR活動



町内で農作物等を生産・販売する方々、七ヶ宿町ふるさと振興課の方々によるご指導やご協力のもと、七ヶ宿の観光や物産品をPRします。

全員が町のイベントスタッフ
わらじで歩こう七ヶ宿



先導や休憩所補助などの仕事を通し、地域の方々との交流を一層深めるとともに、地域に貢献する姿勢を身に付けます。

大河原町の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

大河原町教育委員会では、子供を地域全体で育むために、家庭・地域・学校をつなぐ仕組みをつくり、協働による教育活動を通じ、家庭・地域の教育力向上を目指す「地域学校協働活動」を推進している。

2 地域学校協働本部について

大河原町地域学校協働本部にて協働教育に関する組織的な目標及びビジョンの共有を図り、多くの地域住民や団体等の参画、活動のネットワーク化に繋げていくとともに、町内小中学校の学校運営協議会との連携を図っていく。

3 事業紹介

(1) 家庭教育支援

事業名	内 容	備 考
子育て親育ち講座	親または親子が集まる機会に、子供とのふれあいや実践学習、講話などを通して家庭教育について理解を深める。 内容：親子で楽しむ運動遊び、音楽で癒しを、コンディショニングで体を整える、ほっと一息子育て講座、幼児と楽しむふれあい体操、親子で楽しむふれあい遊び（講師による講話や実技活動等の講座） 他	会場：保育園・幼稚園 児童厚生施設 等 対象：幼児・児童及び保護者 又は保護者のみ 参加者：延べ662名(11回) 開催数：年16回（R5.12.31現在11回）
子育てサポーター養成講座	子育て支援を行う「子育てサポーター」の養成を通し、家庭教育や子育てに悩む親を地域全体で支援する環境づくりと社会意識の醸成につなげる。	会場：大河原町中央公民館 回数：3回 参加者：延べ28名、修了者2名
夏休み親子手作り絵本教室	世界で一つの絵本作りを体験し、子供たちの創造性と想像力を育み、本への愛着や親しみを深める。	期日：7月31日、8月2日・3日 会場：大河原町中央公民館 対象：未就学児及び小学生、保護者 参加者：11名



子育て親育ち講座



子育てサポーター養成講座



夏休み親子手作り絵本教室

(2) 地域活動支援

事業名	内容	備考
ジュニア・リーダー事業・研修会	<p>中高生を対象に、子ども会活動の支援や地域活動を行うリーダーとして、様々な知識や技術の習得を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会（月1回） ・初級研修会（9月2日～3日） 参加者4名 ・子ども会、親子会、児童厚生施設等への派遣 ・自主企画イベントの開催 	<p>在籍数：高校生11名 中学生 4名 小学生 3名 計18名</p> <p>活動場所：中央公民館</p>
チャレンジキャンプ秋！（インリーダー研修会）	<p>子ども会活動における人材の育成及び他校間の交流を目的とし、野外活動等を通じ、様々な知識や技術の習得を目指す。</p> <p>□11月11日～12日 蔵王自然の家</p>	<p>対象：小学4～6年生 参加者：小学生19名 JL 7名</p>
地域学校協働本部「ネットワーク会議（講演会）」	<p>講師を招いて「小中連携によるCSの取組と地域学校協働活動の事例」講演会を実施した。</p> <p>□12月14日 中央公民館</p>	<p>対象：町内小中学校教職員、PTA関係者等 参加者：39名</p>



ジュニア・リーダーと遊ぼう会



インリーダー研修会



定例会

(3) 学校教育支援

事業名	内容	備考
職場体験	<p>町内各事業所への連絡調整を図り、取りまとめを行う。</p>	<p>対象：大河原中学校 金ヶ瀬中学校 2年生</p>
中学生子育て理解講座	<p>家庭科の学習支援として、町保健師による講義や指導のもと、沐浴人形を使用したおむつ替え体験や妊婦シミュレーターを装着しての妊婦体験を行う。</p>	<p>対象：大河原中学校 金ヶ瀬中学校 3年生</p>

事業名	内 容	備 考
学校教育支援 ボランティア事業	町内小中学校からの支援要請に応じ、学校支援ボランティアを派遣する。 ○1年生お世話し隊（下校見守り、給食支援、見学・体験学習引率） ○クラブ活動支援（囲碁・将棋、家庭科、茶道） ○図書関係支援（貸出、読み聞かせ、整頓） ○環境整備支援（理科室、畑整地、植栽） ○音楽関係支援（ピアノ伴奏、民謡指導、琴体験、ドラム演奏、民俗芸能） ○学習支援（裁縫指導、ミシン修理、食育、サツマイモ苗植え・収穫、スキー教室、昔あそび、伝統風呂敷など）	場所：大河原小学校 大河原南小学校 金ヶ瀬小学校 大河原中学校 金ヶ瀬中学校
職業人に話を聴く会	様々な分野で活動する方々の話を聴くことで、「職業への関心を高め、将来の進路選択に対する意識や職業観を磨く。学校から要請のあった職業分野について、就業している方への依頼や、連絡調整等を図る。	対象：大河原中学校 金ヶ瀬中学校 1年生



中学生子育て理解講座



職業人に話を聴く会

（４）放課後子供教室

放課後の時間を活用し、地域の様々な大人との交流や多様なプログラムを通して、地域の子供を育てる環境づくりをしている。また、「放課後子ども総合プラン」に沿った児童クラブとの連携を推進している。

事業名	内 容	備 考
大河原小学校 ほうかご寺子屋	活動内容：学習支援、講師による特別教室 （理科実験教室・レクリエーション）等	活動場所： 大河原小学校 （空き教室）

事業名	内容	備考
大河原南小学校 放課後子供教室	活動内容： ACP活動、伝統文化継承活動（和太鼓演奏、かるた取り体験、けん玉体験）、野外体験、陶芸教室、茶道体験、百人一首体験 ※平成30年度より、NPO法人子ども育成支援団体キハト会へ業務委託を行っている。	活動場所： 大河原南小学校 (アッセンブリホール)
金ヶ瀬小学校 放課後子供教室	活動内容： ペタンク、ペーパータワー、科学実験教室、七夕飾り制作、ハンドベル演奏、たこあげ大会、百人一首大会、和太鼓、もちつき大会・昔あそび 他	活動場所： 金ヶ瀬公民館 (大集会室)



大河原小学校（仙台大学レクリエーション部）



大河原南小学校（田植え体験）

4 成果と課題

○家庭教育支援事業

子育て親育ち講座や子育てサポーター養成講座、夏休み親子で絵本作り教室など多くの参加者を集め好評であった。子育て支援チームに関しては、引き続きメンバーの固定化が見受けられ、新たな人材の確保が課題である。

○地域活動支援事業

ジュニア・リーダーについては、初級研修会や数年ぶりに開催したインリーダー研修会を宿泊により実施できたため、時間が確保され充実した活動ができ、様々な技術や知識を習得するとともに協調性を育む良い機会となった。今後は、ジュニア・リーダーが、より責任感と自主性を養えるよう、活動の内容や進め方やなどを工夫していく。

○学校教育支援事業

学校ボランティアバンクについては、登録更新、実状の把握、見直しを行う必要がある。各学校との連携を図り、支援ボランティアバンクの学校のニーズに合わせた派遣及び活動を行っていきたい。

○地域学校協働活動

大河原町地域学校協働本部立ち上げ以来、研修会や協議を通して組織的な目標及びビジョンの共有が徐々に浸透してきた。教職員や地域住民への周知活動を通して拡く地域学校協働活動の推進に努める。

大河原町 大河原町立大河原小学校「地域伝統文化学習『さんさ時雨』体験」

○市町名 大河原町

○学校名 大河原町立大河原小学校

○期 日 令和5年9月27日(水)
※年4回シリーズの第1回目
※2回目: 10月 4日(水)
3回目: 10月18日(水)
4回目: 11月 8日(水)

○内 容

音楽科(4学年)

「郷土の民謡『さんさ時雨』体験学習」

- ・伝統文化に触れることで、地域について学習する。

○講 師

大河原町文化協会 邦楽部会

民謡栄康会 会主

(日本民謡協会青少年少女民謡

師範教授指導員)

長谷川 栄康 氏



○指導補助

大河原町文化協会 邦楽部会

日本郷土民謡協会

公認教授 長谷川 栄叶 氏

日本民謡協会青少年少女民謡

指導員 佐藤 幸江 氏

日本民謡協会青少年少女民謡

尺八指導員 齋 忍 氏

三味線 教師 佐々木 敏行 氏

○児童の声

・「さんさ時雨」を歌う時に、声を大きくしながら、きれいに歌うのが難しかったです。

(4年男子)



・「さんさ時雨」を直接教えてもらって、分からなかった音程が分かるようになりました。ありがとうございました。

(4年女子)



・「さんさ時雨」の学習を通して、細かいところまで歌えるようになりました。

(4年男子)



・分からなかったところを教えてもらって歌えるようになりました。これからも頑張りたいです。

(4年男子)



練習の成果を発表する時は町民文化祭等です。子供たちの出番が近づくと保護者や地域の観客がどっと増え、会場は熱気に包まれます。地域の皆様や学校関係の皆様を支えられ、子供たちの笑顔を励みに、会員が力を合わせて頑張っております。今後も皆様のご支援を賜りながら民謡が益々盛んに唄われることを願うものであります。

(長谷川 栄康 氏)

○講師から

一目千本桜の町大河原町は、昔から民謡が盛んな町です。私達の自慢は、後継者育成活動にあります。町内の小学校や児童館などの要請に応え民謡の普及活動を行っております。



大河原小学校では、平成21年度から音楽の時間に宮城県民謡さんさ時雨を4年生の児童に教えています。子供たちは、口伝えにより歌詞を見て1時間足らずで大まかに唄えるようになりました。「この次まで練習して唄えるようになりましょう」と子供たちに話したところ、「家に帰ってお母さんと一緒に練習しました」、「お爺さんからも教えてもらいました」など家族で練習した子供が相当あったと伺いました。

○教職員の声

・民謡のリズムや発声の難しさを感じながらも、宮城の伝統の重みに感慨深く練習することができていました。尺八や三味線の和楽器にも触れることができて良かったです。

(4学年担任)



○教育事務所から

大河原小学校の伝統として活動が続いている宮城県の民謡「さんさ時雨」の体験学習。地域の先生や家族にも教えてもらい、日々の練習を積み重ねた子供たちの発表は、間違いなく多くの人の心に響くことでしょう。素晴らしい伝統が今後も引き継がれることを期待します。

大河原町立大河原小学校

〒989-1241 宮城県柴田郡大河原町字町100
電話 0224-52-3401 FAX 0224-52-3402

児童数 810名
P会員数 643名

伝統文化教育 朝の読み聞かせ 仙台大との連携



宮城県民謡「さんさ時雨」を大河原民謡協会の方々から教えていただき、音楽発表会で披露した。

ボランティアの皆さんに絵本などの読み聞かせを行っていただき、子供たちが多くの本と出会う機会を得ることができた。

仙台大学との連携により、最新の機材や研究成果に基づいた体育の授業実践を、大学生と共同で行った。



大河原町立金ヶ瀬小学校

〒989-1224 宮城県柴田郡大河原町金ヶ瀬字居掛21
電話 0224-53-1366 FAX 0224-53-4246

児童数 197名
P会員数 159名



対話を重視した学習

授業に対話する場面を積極的に取り入れ、思考力・表現力を育てている。



協働教育の充実

地域人材を活用し、各教科等の他、行事等の指導の充実を図っている。



伝統芸能の保存活動

堤神楽保存会の指導で練習を重ね、金小祭等でその成果を発表した。

大河原町立大河原南小学校

〒989-1201 宮城県柴田郡大河原町
大谷字蔵沼久27番地1
TEL 0224(53)4220
FAX 0224(53)4223

全校児童数 245名
PTA 会員数 191名

主体的・創造的に学び 心豊かでたくましく生きる 児童の育成

防災のつどい



小中学校合同で、朝集団登校を実施しました。区長さんを中心としたたくさんの方々に御協力をいただき、上級生から下級生まで通学路上の危険について学ぶことができました。

福祉体験



社会福祉協議会の方々との連携し、手話サークルの方や盲導犬ユーザーの方々などにお話をいただきました。また、車椅子を親子で体験し、操作の難しさを実感することもできました。

もがり祭（音楽祭）



ゲストティーチャーをお招きし、合唱指導をしていただきました。各学年すばらしい合唱や合奏を披露できました。また、ほかの学年の発表を聴き、感想を手紙で伝えました。

大河原町立大河原中学校

〒989-1247 宮城県柴田郡大河原町字東1番地
TEL (0224) 52-3501
FAX (0224) 52-3502

生徒数 604名
P会員数 563名

避難所開設訓練



町役場、地域住民とともに避難所開設訓練の実践を通して、自分たちでできることを学んでいる。

小中合同防災のつどい



児童・生徒が居住地区の住民と協同で防災訓練を実施し、地域との連携を強めている。

防犯ボランティア



大河原警察署と連携し、町内商業施設にて、ボランティア部による防犯の呼びかけを継続して実施している。



KANAGASE

junior high school

 大河原町立金ヶ瀬中学校

生徒数 102名 会員数 98名

989-1224 宮城県栗田郡大河原町金ヶ瀬字原7-4番地 電話 0224(56)1889 FAX0224(51)1076



志集会(育英高書道部)

仙台育英学園高等学校書道部の皆さんをお招きして、パフォーマンスを披露してもらいました。毎年様々な講師の方に来ていただき、自分の将来を考える機会になっています。



震災遺構見学(旧中浜小学校)

山元町震災遺構中浜小学校、山元町防災拠点を訪問し、防災について学習しました。語り部の方から当時の話を聞いて、防災についての意識を高めています。



SDGs体験

持続可能な開発目標を設定し、世界の皆でより良い社会を作っていくために講師の先生をお招きして学習を行いました。

村田町の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

むらたっ子応援団事業では、家庭・地域・学校の連携・協働のもと、子供たちの学びの充実を図る活動を展開している。また、活動をとおして生まれる「人とのつながり」を重視し、地域が一体となって子供たちを育む体制づくりをめざし、併せて町民が培ってきた知識や技能を活用する機会の充実を図っている。

2 地域学校協働本部について

(1) むらたっ子応援団協議会

子供たちを地域全体で育むため、家庭・地域・学校の関係各者が連携し、子供たちの「学び」の充実に向け、事業全体の活動方針・計画の策定や活動の助言・指導、評価・検証を行う。

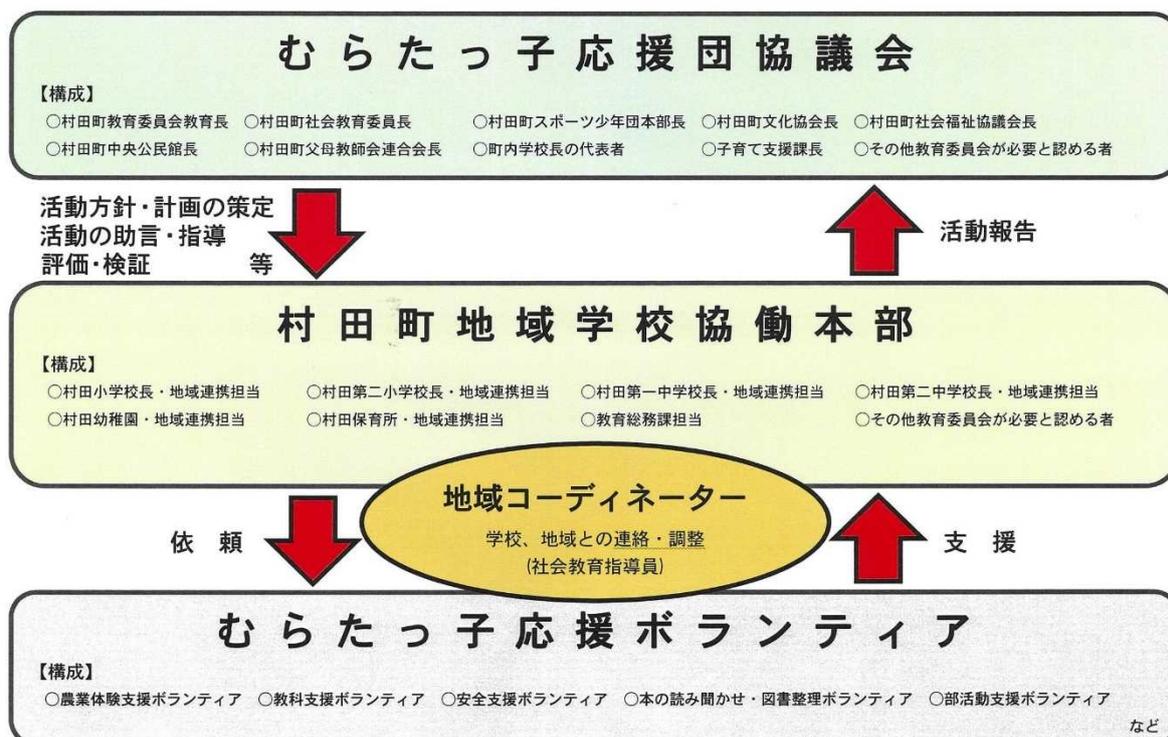
(2) 村田町地域学校協働本部

むらたっ子応援団協議会で立案された計画や方針、事業の評価・検証に基づき、子供たちや保護者の学びを充実させるための取組を行う。

(3) コーディネーター

町教育委員会生涯学習課の社会教育指導員が統括コーディネーター（兼地域コーディネーター）としての役割を担う。

□令和5年度むらたっ子応援団事業組織全体図



3 事業紹介

(1) 家庭教育支援

事業名	内容	備考(会場・対象・参加人数)
家庭教育学級	<p>講話「メディアとの正しい付き合い方について」</p> <p>講師：宮城県家庭教育支援チーム 協議委員 波多野 ゆか 氏</p> <p>・保護者に対し、子育てにおけるメディアとの上手な付き合い方や子供への影響等について、学びの場を提供した。</p>	<p>1. 村田幼稚園 会場：村田幼稚園 参加者：保護者 41名</p> <p>2. 村田保育所 会場：村田保育所 参加者：保護者 66名</p>
	<p>「親子ふれあい体操」</p> <p>講師：(株)こども体育研究所</p> <p>・年齢に適した親子でできる体操をとおして、親子でふれあう手法を学び、家庭での親子のよりよいコミュニケーション能力を育成する機会を提供した。</p>	<p>1. 村田保育所 会場：村田町民体育館 参加者：親子 96組</p> <p>2. 村田幼稚園 会場：村田町民体育館 参加者：親子 63組</p>



【家庭教育学級】

(2) 地域活動支援

事業名	内容	備考(会場・対象・参加人数等)
子ども体験学習クラブ	<p>「常夜灯に絵を描こう！」</p> <p>・絵付けをきっかけとして、自分たちの祖先を意識するとともに、お盆に対して興味関心をもってもらうことを目的に実施した。</p>	<p>会場：村田町民体育館 参加者：小学生 40名</p>
野外活動体験事業	<p>①「夏の子ども村キャンプ」</p> <p>②「春の子ども村キャンプ」</p> <p>・ジュニア・リーダーの指導のもと、異年齢集団でのキャンプ生活をとおして、思いやりや自主性、たくましく生きる力を養うことを目的に実施した。</p>	<p>①会場：蔵王自然の家 参加者：小学生 54名 ジュニア・リーダー 24名</p> <p>②会場：村田町中央公民館 参加者：小学生及びジュニア・リーダー (3月開催予定)</p>

蔵の町むらた 布袋まつりに 参加しよう (山車の引き手)	昔から伝わる地域の風習や芸能と いった「伝統行事」を実際に体験する ことで、郷土の祭りに愛着を持たせる ことを目的に実施した。	会 場：村田町内 参加者：小学生 44名 保護者 16名 ジュニア・リーダー 24名 ジュニア・リーダーOG 2名
ジュニア・ リーダー活動 (会員38名)	「マボック発表会」 ・ジュニア・リーダーが自ら企画した 手作りのクリスマス会を子供たち にプレゼントすることで、お世話に なった人に対する感謝の気持ちか もてるようにするとともに、地域ボ ランティアの活動をとおして、自主 性や協調性を養い、青少年リーダー としての資質・能力をさらに高める ことを目的に実施した。	会 場：村田町中央公民館 参加者： 小学生 50名 ジュニア・リーダー 16名 ※令和5年度は、ジュニア・リー ダー指導のもと、「ニュースポ ーツ」と「創作活動」を行っ た。



【夏の子ども村キャンプ】

【マボック発表会】

(3) 学校教育支援

事業名	内 容	備考(実施機関)
安全支援(登下校時)	児童生徒の登下校時の安全見守り	村田小学校・村田第二小学校
安全支援(校外活動)	園外保育	村田幼稚園・村田保育所
本の読み聞かせ活動	本の読み聞かせ(朝・放課後)	村田小学校・村田第二小学校・ 村田幼稚園
教科支援	歴史の学習、文化体験、書道指導 等	村田小学校・村田第二小学校・ 村田第一中学校
農業体験学習支援	野菜等の栽培・収穫、紅花の栽培・収 穫、米づくり、大豆栽培、干し柿づくり 等	村田幼稚園・村田保育所・村田小 学校・村田第二小学校・村田第二 中学校
行事支援	七夕飾りづくり、餅つき会、だんごさし 体験、凧あげ 等	村田第二小学校・村田幼稚園・ 村田保育所
部活動支援	村田第一中学校総合文化部、村田第二中 学校卓球部	村田第一中学校・村田第二中学 校



【本の読み聞かせ】



【田植え】



【お米の話】



【手遊び】



【紅花の収穫】



【餅つき】

(4) むらたっ子応援団事業における研修会等

事業名	内容	備考(会場・対象・参加人数)
むらた庭木剪定講習会	庭木剪定の技術向上 活動とおした生徒との交流 新規ボランティアの養成	①村田第一中学校 むらたっ子応援ボランティア 及び一般町民 14名 ②村田第二中学校 むらたっ子応援ボランティア 及び一般町民 ※雨天のため中止



【むらた庭木剪定講習会】

4 成果と課題

子どもたちの様々な「学び」の場面で、学校・家庭・地域が協働することによって、子供たちの教育環境を充実させるとともに、町民がこれまでに培ってきた知識や技能を活用する機会の拡充を図ることができた。引き続き、教員や保護者、地域ボランティアなどが一体となって、子供を育む体制を強化していくことが重要である。また、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、徐々にコロナ流行以前の活動が再開できている。引き続き、計画的に活動を進めるとともに、活動内容がマンネリ化しないよう、地域連携担当や地域ボランティアと継続的に意見や情報を共有し、連携・協働を図っていきたい。

村田町 村田町立村田第一中学校(総合文化部支援活動)「伝統料理づくり体験」

- 市町名 村田町
- 学校名 村田町立村田第一中学校
- 期 日 令和5年11月28日(火)
- 内 容

「総合文化部支援活動」

- ・食に関する日本の伝統技能を身につけ、生徒の見識を広める
- ・異世代間交流を通し、生徒の社会性を育成する。

○講 師

菅生あきば会 代表 八巻 静子 氏

○指導補助

菅生あきば会 庄司 秀子 氏

菅生あきば会 木戸 信子 氏



○生徒の声

- ・今回は講師の先生方と一緒に雑煮やお餅作りをしました。部活動ではお菓子を作っていましたが、しっかりとした料理を作るのは初めてでした。講師の先生方に優しく教えてもらいながら調理をしていくと、とても楽しく、上手にお料理を作ることができました。できた雑煮とお餅はとてもおいしかったです。このような貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。
- ・私は初めてお餅やお雑煮を作りましたが、講師の先生方に優しく教えていただき、失敗せずに作ることができました。活動は楽しかったし、最後はお雑煮とお餅をおいしく食べる

ことができよかったです。これからは家の手伝いに生かしたり自分で作ったりしたいと思います。

- ・はじめは野菜の切り方が分からないところもあったのですが、講師の先生に聞いたら「これは、こう切るんだよ。」と優しく教えていただきました。できあがった雑煮は、とてもおいしく作ることができたのでよかったです。

私たち3年生はもう引退ですが、これからも部活動と地域の方々と交流する機会が増えていけばもっと楽しい活動ができると思います。

- ・今回は雑煮とお餅を作りました。普段の生活ではあまり料理をする機会がないので上手に作ることができるか心配でしたが、講師の先生方から優しく調理方法を教えていただいたのでとても安心して活動することができました。調理も部活の人たちと協力しながら楽しく活動することができました。

- ・私は家で料理をあまりしないのですが、講師の先生方に分かりやすく教えていただいて、具材を上手に切ることができました。みんなで協力してお雑煮やお餅を作ることができ、自分で仕事を見つけ活動することができました。雑煮もお餅もおいしかったです。



・むらたっ子応援団のみなさんと貴重な時間を過ごすことができました。今回の体験を生かし、これからも私生活を充実させていきたいと思えます。むらたっ子応援団のみなさん、本日はありがとうございました。またこのような機会があればと思えます。

・むらたっ子応援団のみなさんと一緒にお雑煮やきなこ餅・ごま餅を作りました。ボランティアのみなさんが材料を素早く切っていて、さすがだなと思えました。できあがったお雑煮やお餅はもちもちしていておいしく、無限に食べられそうだなと思えました。

試食の時は、ボランティアのみなさんから昔の学校についてお話を聞きました。昔の学校は今の学校よりもとても厳しかったんだと思えました。

お雑煮やきなこ餅などの作り方を学んだり、ボランティアの方々や交流したり貴重な体験ができました。



・つきたての柔らかい餅がどんどんちぎられて、きなこ餅やごま餅にされていくのを初めて、見てすごいと思えました。できあがったきなこ餅やごま餅、お雑煮は食感がもちもちしていてとてもおいしかったです。自分の家でもお正月は餅つき器でお餅をつくのですが、今回はつきたての餅だったためか、今まで食べた中で一番おいしい餅でした。

むらたっ子応援団のみなさん、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

○講師から

久しぶりに中学生と一緒に活動することができ、楽しかったです。また、やけどなどのけがもなく、活動を終わることができてよかったです。機会があったらまた一緒に活動をしたいと思えます。

私たちの説明を聞き、手際よく作業を行うことができ、さすがは中学生だと感じました。部活動や勉強などで家に帰っても忙しいと思えますが、今回の活動で学んだことを自分の家でも発揮してほしいと思えます。ぜひ自分の家でも家事の手伝いを積極的に行ってほしいと思えます。 (八巻 静子 氏)

○教職員の声

本校の総合文化部では、毎年11月から12月にかけて「日本の伝統技能に触れよう」というテーマで活動を行ってきました。これまでは「むらたっ子応援団」のボランティアの方々と一緒に、稲わらを使った縄作りやしめ縄作り、門松作り、竹垣や板を使った一輪挿し等の作成に取り組みました。

今年は、「食」という観点から日本の伝統に触れるということで、八巻さんや庄司さん、木戸さんの支援をいただき、雑煮やきなこ餅、ゴマ餅を作る体験を行いました。生徒たちはつきたての餅の丸め方やきなこやごまの味付け、雑煮の材料の切り方などを学ぶことができました。生徒たちは日本の伝統食を作ることはあまりなく、今回の活動は貴重な経験になりました。

「むらたっ子応援団」との連携した活動を通して、生徒の見識を広げることができました。また、地域の方々への感謝の気持ちが育っていると感じました。今後も「むらたっ子応援団」と連携した活動を広げたいと思えます。

○教育事務所から

地域の方と中学生が楽しく語らいながら行う部活動の姿はとてもすばらしかったです。みんなが笑顔になるすてきな時間でした。

村田町立村田小学校

ホームページをご覧ください。

あいこぼし「咲かそう、きれいな心の花を、大事にしよう、自分の夢を。」

〒989-1305 宮城県柴田郡村田町村田字迫6 TEL 0224-83-2049 FAX 0224-83-2136 児童数 321名 PTA会員数147名

地域と連携した教育活動（地域学校教育活動）

4年 SUGO 夢教室 ・バイクへの乗車体験、プロレーサーのトークなど貴重な体験ができました。	6年 地域と連携した食育 ・「発酵カレー」を通して、村田町の食文化や特徴について学びました。	3年 味噌作り ・地域の味噌屋さんに教えてもらって、味噌作りに取り組みました。
---	--	---

村田町立村田第二小学校

教育目標：夢と志を持ち、自分らしく生きる人間性豊かな児童の育成

〒989-1321 宮城県村田町大字沼辺字種田72 TEL 0224-52-5922 FAX 0224-52-6550 児童数-121名 PTA会員数：91名

地域の知恵と技が生きる農作業体験活動 紅花農家の二瓶様のご指導で、村田町の特産物を知り、育てています。	読書環境を整える読み聞かせ活動 ボランティアの皆様のお読み聞かせで、読書への関心を高めています。	地域の伝統を支える学習支援活動 笑楽寿来の皆様のお知恵と技を、全身を使って学び、体感しています。
---	--	--

村田町立村田第一中学校

〒989-1305 柴田郡村田町大字村田字七小路92 TEL 0224-83-2104 Fax 0224-83-5865

生徒数：167名 PTA会員数：152名

伝統と先進を学ぶ、村田一中の協働教育活動

植木剪定講習会ボランティア ボランティア活動への参加を通して地域と連携し、郷土の一員としての自覚を高めた。	布袋まつりへの参加 4年ぶりに全校生徒が布袋まつりに参加し、郷土の伝統を継承することができた。	地元企業と連携・夢教室 町内の企業（スポーツランド菅生）の施設見学や職業人の講話を通して、地域社会との関わりについて学んだ。
---	---	--

村田町立村田第二中学校

村田二中 三つの心 「学ぶ心」「感じる心」「働ける心」

〒989-1321 宮城県柴田郡村田町大字沼辺字二丁32番地 電話 0224-83-2428 FAX 0224-83-5211 info@mura-2-jhs.murata-town.ed.jp 生徒数 65名 PTA会員数 59名

「稲作」「紅花栽培・加工」「干し柿作り」体験学習

地域学校協働活動推進事業「むらたっ子応援団」の支援を受けて

「田植え」「稲刈り」 収穫した米はおにぎりや米粉パンに、パッケージも工夫して販売も行う。	「紅花の「選まき」「摘花」「加工」 ドライフラワーに加工したものは町の行事や交流活動に活用、給食のご飯やパンなどにも使用。	「和太鼓」演奏 3年間を通し、新習り少人数グループで行う2日間の「職場体験学習」。
--	---	---

地域伝統の「農機本館」地区の方に教わって、文化祭で発表。
 「干し柿づくり」↑ 沼田地区の伝統の干し柿づくりを体験。
 「農水研室講習」↑ 学校が会場、全校生徒でお手合い。
 「スポーツランド菅生での交流活動」